

●公開シンポジウム 「夢に向かって学び、生きる」 ～一人一人の夢の実現のために～

〈パネリストの言葉から〉

■私は教育というのは不思議なものだと思います。今あることが大切だ。今の私たちが持っているものが大切だ。いうまでもなく大切です。そのことお教えないで、私たちは、次の世代の人たちが私たちの世代と、いわば共存していく場所を見い出せません。しかし、同時に、原理的な言葉を使ってしまうと、「今あるものはもしかしたら間違いかもしれない」という可能性を同時に次の世代に伝えていくことなんです。
(村上陽一郎 教授)

■具体的に何をやったかということですが一つは入試を変えました。偏差値で測れない、人間がもっている様々な要素を測る方法はないだろうか。先程、村上先生は好奇心ということがキーワードだとおっしゃいましたが、私もそういう意欲とか、好奇心とか、場合によったら、もっと大きく括って個性と言ってもいいかわかりませんが、そういうようなものを判定基準にするような入試があってもいいんじゃないか。そこで、パーソナル・プレゼンテーション (personal presentation) という入試方法を考えました。

公開シンポジウム

主催 福島県教育委員会
後援 福島市教育委員会
福島県PTA連合会
福島県高等学校PTA連合会



○基調講演
村上 陽一郎
(国際基督教大学教授)
「科学との出会い・学ぶ喜びへの誘い」

「夢に向かって学び、生きる」
一人一人の夢の実現のために

○日程

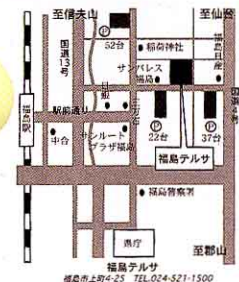
受付	9:00~
開会	10:00~
基調講演	10:20~12:00
シンポジウム	13:00~15:40
閉会	15:40~16:00

○コーディネーター及びパネリスト

- 庄司 他人男 (福島大学教授)
- 坪井 学夫 (福島商工会議所会頭)
- 早川 敬介 (福島県PTA連合会会長)
- 井田 勝興 (三春町立若江中学校校長)
- 勝間田 敏男 (県立相馬高等学校長)

○趣旨

子供たち一人一人の夢の実現のために、小学校から高等学校卒業後までを見通した進路指導の在り方について、参加者から広く意見・提言を求める。



平成10年9月3日(木) 10時~16時 **福島テルサ**

公開シンポジウムのポスター



講演する村上陽一郎教授



パネリストによるパネルディスカッション